

地球温暖化対策実行計画に基づく調査結果

	平成25年度(基準年度)	平成29年度	平成30年度	平成31年度(令和元年度)	令和2年度	令和3年度
CO2排出量	約2,649.7 t	約2,587.9 t	約2,515.5t	約2,195.2 t	約2,161.4 t	約2,388.6 t
増減(%)		-2%	-5%	-20%	-22%	-10%

※増減については基準年度との比較になります。

平成29年度分析結果まとめ

今年度は全体の排出量としては-2%となりました。今年度の増減を見たときに全体としてはあまり大きな変化ではないように思えますが、防犯灯のLED化をしたことでその部分の排出量については削減率が高くなっていました。色々な施設ごとに確認すると、人口の増加に伴い、排出量が増えてしまったところもありましたが、それぞれが意識をして排出量を抑えるための努力をしてきた結果が出始めていると感じました。

平成30年度分析結果まとめ

今年度は全体の排出量としては-5%となりました。今年度の増減を見ると、大きな変化をしているところはありませんが、施設ごとに燃料の使用を抑えたことで全体の排出量を減らすことができました。施設によっては天候の影響で電気、灯油の使用量等、年度ごとに増減してしまうことも考えられるので、今後も排出量を目標値まで減らせるように対策を考えたいと思います。

平成31年度(令和元年度)分析結果まとめ

今年度は後半新型コロナウイルスの影響により、施設関係の電気使用量が減ったことも要因になると思いますが、LED化した施設については例年と比べて大幅な削減ができています。数値上では当初設定した目標値を達成することができていますが、建替え等により稼働していなかった施設もあるため、確実なものではありません。このまま施設ごとにエネルギーの消費を抑え、さらなる削減に向けて取り組んでいきたいと思います。

令和2年度分析結果まとめ

今年度も新型コロナウイルスの影響により、学校の休校や施設関係休館、貸し出し停止により電気使用量が減ったため、CO2の削減ができています。しかし、あくまでイレギュラーな事態での数値のため、元の生活様式になった際に同じような数値はでないのではないかと考えられます。この機会に施設等の効率的な運用方法等を考え、今後も更なる削減を目指し、目標値に到達できるように取組みたいと思います。

令和3年度分析結果まとめ

ある程度の元の生活様式に戻ったため、前年度に比べるとかなり排出量が増えてしまいました。換気等により、外に冷気及び暖気が逃げてしまい、結果、冷暖房を使用する時間が長くなったりしたことも一因かと考えられます。また、総合会館はワクチン接種で例年より使用時間が増えたことにより排出量も高く出ています。結果としては、目標値である13%を達成することができませんでした。